

## 事務の効率化の取組み 効果実績

No.	取組み内容	導入時期	定量的効果	削減時間	所管課の所見	所管課
1	RPA(※1)、AI-OCR(※2)	令和4年度	<p>○4シナリオ(①~④税務課)稼働中、1シナリオ(⑤会計課)検証中【令和7年11月末時点】</p> <p>①軽自動車納付事務に関するデータ登録(日時処理:稼働中)</p> <p>②口座振替依頼データのデータ抽出(月時処理:稼働中)</p> <p>③決算明細に係るデータ作成(月時処理:稼働中)</p> <p>④コンビニ収納データ取込(日時処理:稼働中)</p> <p>⑤収納データの財務会計システム入力(日時処理:検証中)</p>	<p>①月2.5時間、年間30時間</p> <p>②月10分、年間2時間</p> <p>③月10分、年間2時間</p> <p>④月2.5時間、年間30時間</p>	<p>・RPAは、毎日決まった時間に動作するため、時間を気にせず業務にあたることができるなど、担当者の定型業務負担の軽減、事務の効率化が図られているほか、処理漏れの防止、担当者不在時の業務継続性確保などにつながっており、今となってはなくてはならないツールとなっている。</p> <p>・AI-OCRは、口座振替申込書の読み込みにより電子データ化を目指していたが、読み取り精度に難があり、課題が残っている。</p>	政策課
2	テレワーク環境の整備	令和5年度(8月)	<p>○遠隔地から庁内ネットワークに接続できるモバイル端末25台を令和3年度に導入(部課長級職員)し、令和4年度に追加で140台導入(係長級以上、その他各係に1台以上配備)</p> <p>※ 配備割合 44%(導入台数:165台/総配備台数:375台)</p>	—	<p>・子育て・介護と仕事の両立や、場所に捉われない柔軟な働き方を、職員が選択できる体制を確保しており、徐々に職員の間にも浸透してきている。</p>	総務課
3	統合型GIS(地理情報システム)	令和4年度	<p>○35種類のデータを搭載、うち27種類を8カテゴリに分けて一般に公開【令和7年11月末時点】</p> <p>※ 主なもの:防災情報(津波浸水想定、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難場所など)、下水道情報(台帳図、供用開始区域)、施設情報(公共施設一覧、投票所など)、くらし・安全(防犯灯、道路反射鏡、AED設置場所、公衆無線LAN、広報掲示板)</p> <p>○公開型の利用者数は、4,296件【令和6年度】</p>	—	<p>・各種情報を公開したことにより、町民や事業者からの窓口での問い合わせが減少した。</p> <p>・各種情報を搭載したことにより、職員が現地調査を実施したり、書庫や他部署に書類収集に行くことなく、自席で必要な情報を取得できるようになり、業務効率が向上した。</p>	政策課
4	スマート申請システム	令和4年度	<p>○17手続きを受付中【令和7年11月末時点】</p> <p>※ 主なもの:児童手当関係(現況届、金融機関変更など)、こども医療費助成事業関係(交付申請、再交付申請)、町税還付申請口座登録、町主催事業申込み(スポーツ教室、ホリデイスクール)</p> <p>○申込件数は、924件(前年比△17件)【令和6年度】</p> <p>※ 旧システムでの申込3,156件(前年比+1,329件)と合わせて、4,080件(前年比+1,312件)</p> <p>○令和7年度には、全庁的な説明会を開催し、利用促進を図っている。</p>	—	<p>・来庁者の事前予約については、システムへの利用者登録が必要なことから、利用者から分かりにくいなどの声があり、利用が伸び悩んでいる。</p>	政策課
5	AI議事録作成支援システム	令和5年度	<p>○343時間の書きおこしを実施【令和5年度】</p> <p>○310時間の書きおこしを実施【令和6年度】</p> <p>※ 一般的に、1時間の議事録作成に4~5時間の所要時間がかかる。</p>	<p>①1,700時間</p> <p>②1,500時間</p>	<p>・文字を1から入力する作業がなくなり、作業効率が大幅に向上している。</p> <p>・職員からの反響も多く、事務の効率化の取組みの中でも特筆して導入効果が大きい。</p>	政策課

※1・・・Robotic Process Automationの略称で、従来人間が行っていたデスクワークをルールエンジンやAI(人工知能)などの技術を備えたソフトウェアロボットが代行・自動化することです。

※2・・・従来のOCR技術に人工知能(AI)を統合した進化版のOCR技術で、手書きの文字や複雑なフォーマット、異なる言語や様々な活字フォントに対しても高い精度で文字を認識します。